

第54回 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会 全国大会

東京大会



日時 令和7年7月28日(月)・29日(火)・30日(水)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

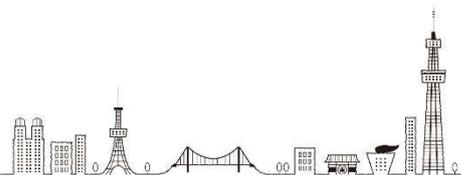
主催 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会
東京都公立学校難聴・言語障害教育研究協議会

後援 文部科学省 子ども家庭庁 全国都道府県教育委員会連合会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国特別支援学校長会
全国聾学校長会 全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会
全国国立幼稚園・こども園長会 全国特別支援教育推進連盟
全日本特別支援教育研究連盟 全日本聾教育研究会
北海道言語障害児教育研究協議会 関東地区難聴・言語障害教育研究協議会
東海四県言語・聴覚・発達障害児教育研究会 九州地区難聴・言語障害教育研究会
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 日本吃音臨床研究会
日本吃音・流暢性障害学会 全国言友会 東京言友会 日本言語聴覚士協会
NPO 法人全国ことばを育む会 全国難聴児を持つ親の会
全国情緒障害教育研究会 全国都道府県教育庁協議会
一般社団法人日本自閉症協会 全国特別支援学校知的障害教育校長会
全国高等学校長協会 財団法人日本知的障害者福祉協会
日本自閉症スペクトラム学会 東京都教育委員会 東京都公立小学校長会
東京都中学校長会 東京都国立幼稚園・こども園長会
公益財団法人日本教育公務員弘済会東京支部

特別協賛 小川再治 研究協賛会

(申請予定)

大会テーマ・趣旨



つながる

輪 ～新しい時代へつながり、結び付ける～

前回の東京大会から10年が経ちました。前回大会のテーマは「輪（つながる）」でした。保護者や在籍校、関連機関との連携、難聴・言語障害教育に関わる教員同士の連携としての「横の輪（つながる）」と、また、子供たちの幼児期から大人に至るまでの連続した成長を支えるための各教育機関との適切な連携としての「縦の輪（つながる）」が重要であると提言しました。その後、令和4年度に東京都公立学校難聴・言語障害教育研究協議会（都難言協）は60周年を迎えました。教師自ら学び合う研修・研究組織作りを進める中で、「輪（つながる）」を大事にした実践を積み重ねてきました。

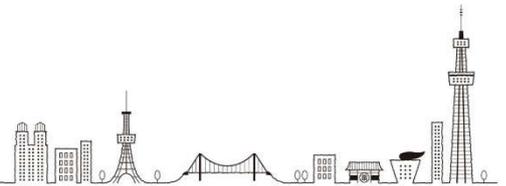
一方、「特殊教育」から「特別支援教育」への転換から20年近くが経過しました。特別支援教育は制度面や教育面での充実が図られる中で、子供たちが抱える困難さも、きこえやことばの課題だけでなく発達障害や情緒障害など多岐にわたり、それらが複雑に絡まり合い、その多様なニーズに応えるため、指導や支援はより一層の困難さを増している現状もあります。また、教育界全体を見渡すと、共生社会の実現やSDGs（持続可能な開発目標）達成の一環として、人々の多様性を受け入れる社会の実現といった時代のニーズに応えるための教育の在り様や、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指しICTの活用など新しい教育活動の在り方が模索され広がってきています。

本大会では、令和2年度からのコロナ禍により、制限された環境で継続しにくい教育活動を乗り越え、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代を生きる子供たちの難聴・言語障害教育の在り方について話し合うため、再び「輪（つながる）」をテーマに掲げ、この教育に携わる仲間が共に集い学ぶ場を提供したいと考えます。

これからの時代のきこえとことばの教室の果たすべき役割を考えると、一人一人の子供の理解やその子供の良さを伸ばし、育ちを支えていく指導や支援の充実、保護者や在籍校、地域とのつながり、関連機関との連携などつながる力が、より一層求められています。さらには、多様性や共生社会という新しい時代へのつながりや、ICTの活用など新しい教育方法へのつながりも重要です。

子供たちの限らない成長のため、今私たちが果たすべき役割や、今後担うべき役割について考えを深めることにより、難聴・言語障害教育の新たな一步を踏み出すべく、こうしたつながりをさらに結び付けていくような機会にしたいと思います。

大会日程



7/28 (月)	13:30	14:00	14:30	16:30	受付	ブロック 代表者会議	全国理事会
					基礎講座	構音	
					基礎講座	吃音	

☆ 受付は、センター棟 101・102（基礎講座会場）です。

7/29 (火)	8:30	9:00	9:30	10:00	11:30	13:00	14:20	14:30	15:50	16:00	16:20	16:30
	受付	開会 行事	記念講演	昼食	パネルディスカッション ～当事者の声を聞く～ 当事者・担当者・コーディネーター	全難言協 総会	事務 連絡					
	吃音	難聴										

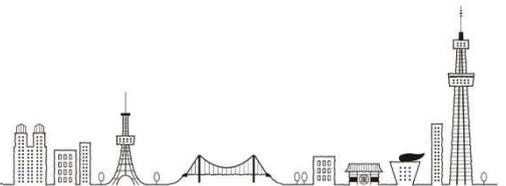
☆ 受付は、終日カルチャー棟大ホールロビーです。

7/30 (水)	8:30	8:45	9:15	9:30	11:30	13:00	15:00	15:45	16:30
	分科会 打ち合わせ	受付	分科会	昼食	分科会	講義			

☆ 受付は、センター棟の各分科会会場です。

☆ 分科会によってタイムテーブルを変更する場合があります。

基礎講座



7月28日(月) 14:00~16:30 受付 13:30~

都難言協（東京都公立学校難聴・言語障害教育研究協議会）の基礎研究会と合同で、経験年数3年以下の方を対象に、2つの講座を並行して開講します。受講を希望する場合は、どちらか1つ選んでください。基礎的な知識や指導・支援の仕方などを身に付けられる内容の講座となります。

センター棟
101

構音

講師 **山下 夕香里**
(元帝京平成大学)

定員200名

センター棟
102

吃音

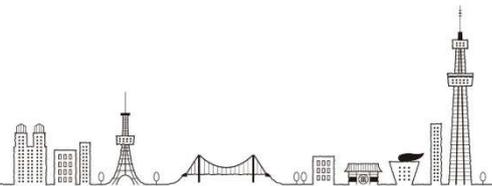
講師 **坂田 善政**
(国立障害者リハビリテーションセンター学院)

定員200名

※東京大会の参加費とは別に1,000円の受講料がかかります。

なお、28日(月)の基礎講座のみ参加することもできます。

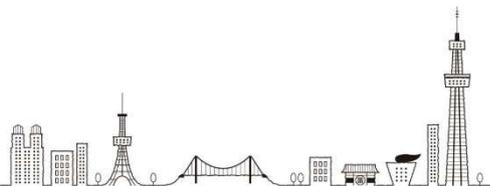
全体会



7月29日(火) 9:30～ 受付 9:00～

受付	9:00～	カルチャー棟 大ホール ロビー
開会行事	9:30～	カルチャー棟 大ホール
全難言協総会	16:00～	カルチャー棟 大ホール
事務連絡	16:20～	カルチャー棟 大ホール

記念講演



7月29日(火) 10:00～ カルチャー棟 大ホール

演題 **すべての子供たちの学びの充実に向けて**

～ 適切な指導と必要な支援 ～

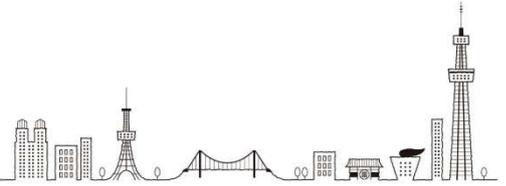
講師

大西 孝志 (東北福祉大学)

特別支援教育の制度が始まって19年が経ちました。この間様々な変化がありました。対象児童の急増や専門性の高い教員の不足、ICT・タブレットの普及など、昔では想定できなかったものが多く挙げられます。一方で、変わらないものもたくさんあります。「分かる授業の大切さ」「行き過ぎた支援はお節介」「保護者と子供と先生の協力」といった、これまでの全難言協が大切にしてきた「みんなのいっぽ」という考え方です。今回の講演では、指導や子育てに大切なことについて、考える時間を共有したいと思います。

パネルディスカッション

7月29日(火) 13:00～ カルチャー棟 大ホール



< 吃音 >

テーマ **吃音のある子供との関わりを今一度考える**

コーディネーター **牧野 泰美** (国立特別支援教育総合研究所)

当事者 **大野 恵古** (ことばの教室卒業生)

担当者 **安河内 諭** (東京都大田区立東調布第三小学校)

日々の吃音の指導をどのように行っていますか？ どのような学習が必要なのか、何をもちて効果や成果があったというのかなど、悩むことはありませんか？当事者、通級担当者の率直な思いや考えを基に、吃音のある子供との関わりについて、今一度考えていきましょう。

< 難聴 >

テーマ **新しい時代につながる難聴児への指導や支援の在り方とは**

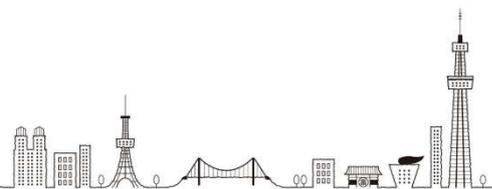
コーディネーター **山本 晃** (国立特別支援教育総合研究所)

当事者 **那須 穂 ・ 岩泉 由美子**
(きこえの教室卒業生・保護者)

担当者 **大井 梨絵** (東京都足立区立弥生小学校)

難聴児は聴覚からの情報を正しく受け取りにくく、コミュニケーションに困難がみられます。子供たちが自信をもって人と「つながる」ことができるように、当事者の声を聞きながら、難聴児への指導や支援の在り方について、皆様とつながり、話し合う時間にしていきます。

分科会



7月30日(水) 9:30~ 受付 9:15~

※7つの分科会から1つ選んでください。

第1分科会 難聴

センター棟
309

テーマ **難聴のある子供をどう指導、支援し、
9年間の育ちを支えるか**

発表者

- ・池谷 謙介 (東京都武蔵野市立桜野小学校)
- ・依田 広太郎 (東京都練馬区立開進第二中学校)
- 江尻 聖子 (東京都練馬区立旭丘小学校)
- 成松 裕美 (東京都練馬区立石神井小学校)

講師 **大鹿 綾** (東京学芸大学)

小学校難聴学級の指導事例、小学校・中学校難聴学級の連携した取り組みについて発表します。日々の実践や成果、課題などを情報交換し、難聴のある子供への指導・支援について共に考える時間にしましょう。

声門破裂音や咽頭摩擦音といった症例が少なく皆様が指導に悩む事例を通して、指導の方法や工夫、連携について考えていきます。指導法などの交流を通して分科会に参加する皆様とつながりをもちつつ2学期からの指導に役立つ会にします。

第2分科会 構音

センター棟
101

テーマ **構音に誤りのある子供をどう指導し、
連携・支援していくか**

発表者

- ・山口 裕子 (東京都多摩市立北調訪小学校)
- ・林 さおり (東京都品川区立台場小学校)

講師 **山下 夕香里** (元帝京平成大学)

「対話を通じた指導」や「実態把握のための観点」をキーワードに、事例を交えて提案します。子供の実態を広く捉える観点は、ケース会議や行動観察ですぐに活用できます。これからの時代を生きる子供たちに付けたい力や、新たな指導の可能性について、共に考えていきましょう。

第3分科会 吃音

センター棟
102

テーマ **吃音のある子供をどう見立て、
指導していくか**

発表者

- ・竹尾 絵里 (千葉県千葉市立高洲第三小学校)
- ・阿部 幸 (東京都渋谷区立神南小学校)
- 稲田 由佳 (東京都立川市立第八小学校)
- 逆瀬川 聡子 (東京都渋谷区立神南小学校)

講師 **宮本 昌子** (筑波大学)

第4分科会 言語発達

センター棟
310

テーマ **聞く・話すに課題がある子供、
DLD（発達性言語症）の見立てと支援**

発表者

- ・ 霞岡 晃世（東京都三鷹市立南浦小学校）
- ・ 金田 有未（東京都台東区立黒門小学校）

講師 **田中 裕美子**（大阪芸術大学）

「わかんない」「知らない」が多い子、話量は多いけど何を言っているのか伝わらない子…そんな子供たちの指導に悩んでいませんか？ 指導が楽しくなるヒントを参加者の皆様と一緒に考えていきます。

漢字の読み書きが難しい児童を対象に「4つの学習ルート」に基づく指導の事例を紹介し、様々な実態の児童に対し、どのような漢字指導が有効なのか、一人一人の児童に適した漢字習得の方法を、一緒に考えていきましょう。

第5分科会 読み書き

センター棟
311

テーマ **読み書きに苦手さのある子供の漢字学習を
どう支援し、指導していくか**

発表者

- ・ 薄 洋介 他（東京都江東ブロック研究会）

講師 **大伴 潔**（東京学芸大学）

第6分科会 ICT

センター棟
405

テーマ **指導・支援の充実を目指した
ICT活用の可能性とは**

発表者

- ・ 山上 弘祐（東京都板橋区立上板橋小学校）
- ・ 船田 莉奈
- ・ 小出 喜美子 他（東京都多摩西ブロック研究会）

講師 **永田 真吾**（山梨大学）

ICT を活用した効果的な指導および支援について事例発表や実践報告をします。協議会では、日々のICTを活用した指導・支援の実践を情報交換する中で、これからのICT活用の可能性について考えていきます。

「連携」をキーワードとした実践を発表します。日々の「連携」について、参加者の皆様からご意見いただき、実践や成果、課題などを情報交換していく予定です。これからの難言学級に求められる「連携」を一緒に考える会にします。

第7分科会 連携

センター棟
409

テーマ **在籍校・教員・保護者・関係機関と日頃から
どう連携し、子供の育ちを支えていくか**

発表者

- ・ 坂本 康子（東京都中央区立明正小学校）
- ・ 長谷川 絵里（東京都北区立王子小学校）
- ・ 福岡 見代（東京都千代田区立千代田小学校）
- ・ 久保 淳太郎（東京都練馬区立関町北小学校）
- ・ 会田 ひかる（東京都練馬区立関町北小学校）

講師 **滑川 典宏**（国立特別支援教育総合研究所）



申し込みについて



東京大会の申し込みについて

東京大会は、全て対面での開催です。

チケットは、東京大会 HP（チケットPAYでの申し込み）からお申し込みください。
販売期間は6月2日（月）から6月30日（月）です。参加費用は5,000円です。
発券の際に、システム手数料として別途330円がかかります。

7月30日（水）の分科会は、7つの分科会の中から1つ選択してください。

<東京大会 HP>

URL <https://www.tonangen.com/tokyotaikai>

※最新情報は、東京大会 HP に掲載します。

随時、ご確認ください。



基礎講座の申し込みについて

基礎講座は経験年数1～3年目の方を対象とした研修会です。受講を希望される方は、申し込みの際に2つの講座から1つ選択してください。また、大会参加費用とは別に1,000円お支払いください。基礎講座のみの受講も可能です。

※基礎講座のみ受講される場合は、大会参加費（5,000円）はかかりません。



手話通訳・要約筆記などについて

東京大会では、以下の場面のみ手話通訳や要約筆記による情報保障を行います。

- ・7月29日（火） 開会行事、記念講演、パネルディスカッション、総会
- ・7月30日（水） 難聴の分科会

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。





大会要項・資料について

大会要項や資料は、東京大会 HP に PDF で掲載いたします。各自ダウンロード、印刷等してお持ちください。資料の閲覧にはパスワードが必要です。お申し込み後、パスワードをお知らせいたします。

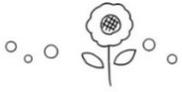


禁止事項について

著作権や個人情報保護のため、以下の内容をよくお読みになりご参加ください。

- 本大会の一部または全体の、写真撮影や動画撮影、録音などは禁止します。
- 本大会中に知り得た個人情報や取り扱われる事例にかかわる内容などについて、SNS などで発信したり、当事者の許可なく口外したり利用したりすることを禁止します。
- 本大会で使用する資料や電子ファイルの無断転載を禁止します。





会場について



独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

電話：03-3469-2525 FAX：03-3469-2277

HP <https://nyc.niye.go.jp>



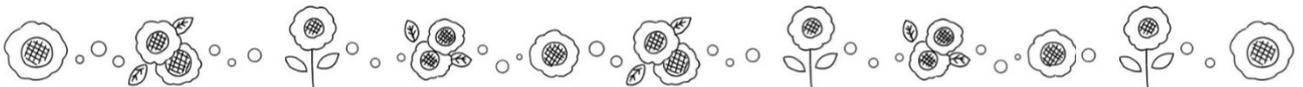
<アクセス>



◆電車利用の場合◆



◆バス利用の場合◆





<オリンピックセンター内での食事について>

オリンピックセンターにはカフェや食堂が3つあります。

詳細は、QRコードから「カフェ&フード」のページにアクセスしてご覧ください。



カフェテリア ふじ

- 営業時間 昼食は11:45~13:30
場 所 センター棟 2階
内 容 3種類の日替わりメニューから1つ選択できます。

だしラボ cafe

- 営業時間 昼食は11:30~14:30
場 所 センター棟 2階
内 容 平日限定の定食があります。

カフェ&ベーカリー ぴっころ

- 営業時間 11:00~17:00
場 所 正門
内 容 ドリンクがメインです。軽食としてパンがあります。

イートインスペース

- 営業時間 10:30~14:30
場 所 カルチャー棟 2階
内 容 食事場所、無料休憩場所として使用できます。

※オリンピックセンター内では、食事ができる場所が限られています。お弁当などを
持ち込む場合は、イートインスペースをご利用ください。



東京大会

Tokyo Convention

2025

【問い合わせ】

大会実行委員長 河野 芳浩（烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 校長）

実行副委員長 阿部 厚仁（烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 きこえとことばの教室担当）

【連絡先】 〒157-0061 世田谷区北烏山6-3-1

TEL 03-3300-5764（学校代表）

TEL 03-3309-3420（教室直通）

FAX 03-3300-0453（教室直通）

E-mail senf53@setagaya.ed.jp